

[後期全体会]

開	会	午後 1 時 0 7 分
閉	会	午後 1 時 2 0 分

議 場

37人
委員長
副委員長
委員

祐一美茜徳人彦裕樹枝彦一る郎俊憲人則享也康里彦篤満一茂彦
大寿智 博明敏貴克佳勝伸ゆず達毅大邦幸 智照真秋 龍 一
田口地山川上田岡田 山田原岡井保井谷部川西田道 島田尾上
押谷木金細野福金藤柏飯織高豊金久松金岡舎江高高東大市松尾

委	員	橋	本	雅	雄
	//	松	井	桂	将
	//	横	野		昭
	//	村	石		篤
	//	村	上	和	久
	//	金	厚	有	豊
	//	鋪	田	博	紀
	//	高	田	重	信
	//	赤	星	ゆかり	

4 欠席委員 0人

5 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	堤	靖	夫
議事調査課長代理	土	智	樹
議事調査課議事係長	河	圭	祐
議事調査課主任	澤	井	将
議事調査課主任	北	森	俊
			成

6 会議の概要

- 委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。
これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、織田総務環境分科会長。
- 総務環境分科会長 総務環境分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第125号中、環境部所管分のごみ減量化・資源化推進事業費について、次のような意見の表明がありました。
まず、反対意見について申し上げます。
本市が実施した家庭ごみ有料化に関する意見交換会やパブリックコメントにおいて、家庭ごみ有料化の導入に対して、市民の反対意見が多数ある。また、家庭ごみ有料化を実施している中核市は19市で、全体の約31パーセントであること。さらに、債務負担行為の限度額である3億9,504万1,000円は、市民への新たな負担になることから、令和9年10月1日からの家庭ごみ有料化制度の導入は市民の十分な理解を得ているとは思えないという観点からの反対意見がありました。
次に、賛成意見について申し上げます。
家庭ごみの有料化は、廃棄物の排出抑制、再生利用、資源循環の推進に大きく寄与するものであり、市民の行動変容を促すことが期待できる。また、国も導入を推進しており、全国では約67パーセントを超える自治体が導入している。富山市環境審議会においても、4年間にわたり議論が進められ、有料化の導入を進めるべきとの答申がなされている。ごみ焼却施設については、建設から23年が経過しており、今の我々から将来の市民に向けて資金を積み立てる期間が必要であり、私たちは30年後、50年後と、

将来世代のことを考え、責任を持ち行動しなければならないという観点からの賛成意見がありました。
以上、総務環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、金岡厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件２件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第１２５号中、市民生活部所管分のスポーツ大会事業費について、申し上げます。
委員から、ＢＬＡＣＫ　ＳＡＭＵＲＡＩ　富山　Ｈｏｍｅ　ｃｏｍｉｎｇ開催負担金について、実行委員会は、どのような組織で構成されているのか。また、本市が本事業に共催し、開催運営費の一部を負担することになった経緯は、との質問がありました。
これに対し、当局から、本実行委員会は、八村　塁選手が展開されているプロジェクト「ＢＬＡＣＫ　ＳＡＭＵＲＡＩ」と北日本放送株式会社の２者で構成されております。
本プロジェクトにおいて、県内の小・中学生約２００名が無料で招待されることは、スポーツ振興や競技力の向上につながります。
加えて、本プロジェクトが開催されるＹＫＫ　ＡＰ　ＡＲＥＮＡ周辺でバスケットボール以外のイベントも開催されるなど、アリーナを拠点としたにぎわいの創出とスポーツを通じたまちづくりにつながることから、開催運営費の一部を負担することとしておりますとの答弁がありました。
また、別の委員からは、本市が支援する負担金は、

全体事業費の約 10 パーセントに当たる 1,500 万円とのことだが、その積算根拠は何かとの質問がありました。

これに対し、当局から、本プロジェクトの事業費は約 1 億 3,300 万円となっており、負担金については、主催者、富山県と協議の上、決定しております。

また、事業費には、八村 塁選手の移動に係る警備等について、NBA の規定に準拠した厳しい要件が設定されているため、それに対応するための費用も含まれていると主催者から伺っておりますとの答弁がありました。

なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、松井経済教育分科会長。

経済教育分科会長 経済教育分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件 2 件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第 125 号中、教育委員会所管分のスクールバス運行等事業費について、申し上げます。
委員から、山田中学校区でのスクールバス運行について、リース方式を採用した理由は何かとの質問がありました。
これに対し、当局から、令和 9 年 4 月現在の生徒数を 25 人と見込み、ワゴンタイプの車両を導入することとしておりますが、購入と 5 年リースを比較すると 100 万円程度費用を抑えられること、将来的

な生徒数の推移に鑑みて、柔軟な車両運用ができることから、リース方式を採用しましたとの答弁がありました。

これを受けて委員から、運転手に必要な免許の要件はどのように設定しているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、現在、業者へのサウンディング調査を行っており、運転手に必要な免許の要件については、まだ確定しておりませんが、安全運行の面からは二種免許が望ましいと認識しております。しかしながら、いわゆる2024年問題の影響で、運転手の確保が難しい状況にありますので、今後、業者へのヒアリングを行いながら、決定したいと考えておりますとの答弁がありました。

これを受けて委員から、事故が起きた場合の保険はどうなっているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、先行してスクールバスを運行している水橋地区などと同様に、自動車損害賠償保障法に基づく自動車損害賠償責任保険のほか、運行業務委託契約において、無制限の対人対物補償、人身傷害補償、車両補償がある任意保険の加入を条件としたいと考えておりますとの答弁がありました。なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、経済教育分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、高原建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第125号中、消防局所管分の分団運営活動費について、申し上げます。

委員から、機能別学生団員確保事業について、入団希望者数が当初見込んでいた人数を上回ったとのことだが、どのような募集活動を行ったのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、市内の看護学生を対象に、大規模災害時には避難所での応急救護活動、平常時には救急講習のほか、消防局が実施するイベント等において、看護学生が持つ知識やスキルを生かした啓発活動を行っていただくと説明いたしましたところ、大きな反響をいただき、入団希望者数の増加につながったものと考えますとの答弁がありました。

これを受けて、委員から、入団希望者の男女比率と年齢はどのようになっているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、令和8年6月23日時点で191名の入団希望者がおり、女性が176名、男性が15名となっております。また、年齢は18歳から50歳代の方々がおられますが、若い方が多くなっておりますとの答弁がありました。

これを受けて、委員から、女性の入団希望者が多いということだが、女性が気兼ねなく活動を行うため、配慮している点などはあるのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、現在、女性の機能別団員におかれましては、男性の基本団員のように、分団器具置場での活動はなく、何かの行事の際に、時間を限定して活動をしています。本事業の機能別学生団員も同様に考えておりますとの答弁がありました。なお、全ての案件について意見の表明はありませんでした。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

以上で、質疑は終結いたしました。

これより、議案第１２５号 令和８年度富山市一般会計補正予算（第１号）を起立により採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は原案可決されました。

次に、議案第１２６号、議案第１２７号、以上２件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

これで、６月定例会の当委員会に付託されました、全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和８年６月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和 8 年 6 月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 押 田 大 祐

署名委員 横 野 昭

署名委員 村 石 篤